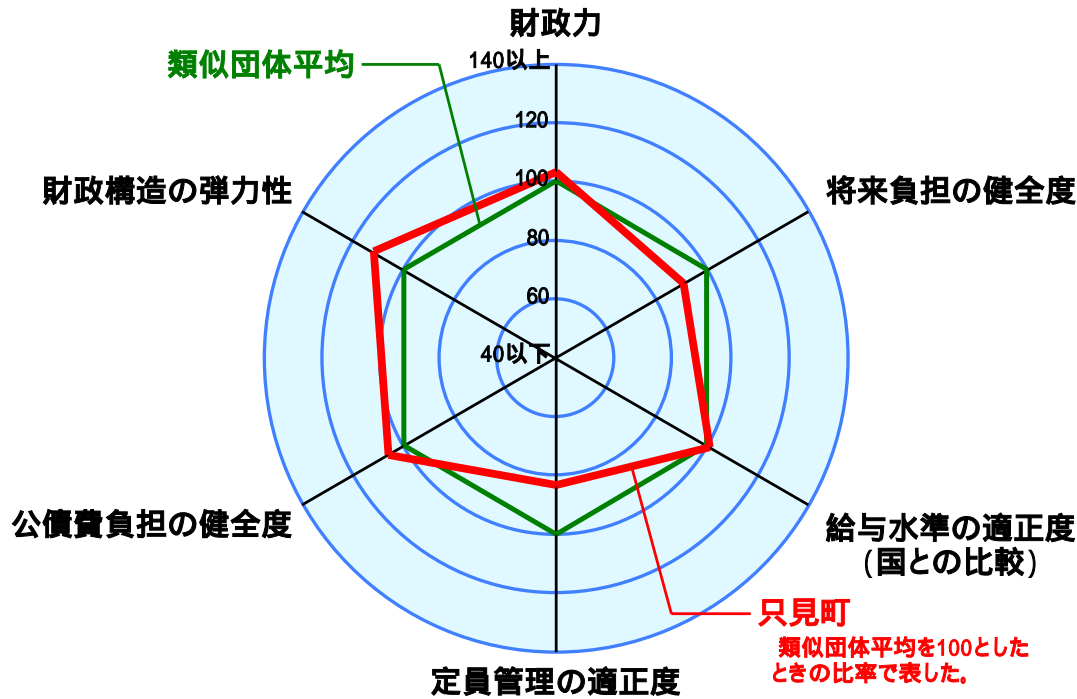
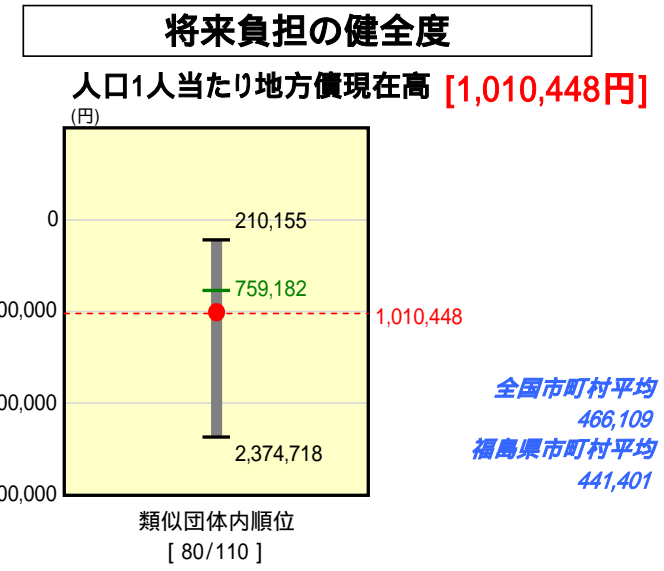
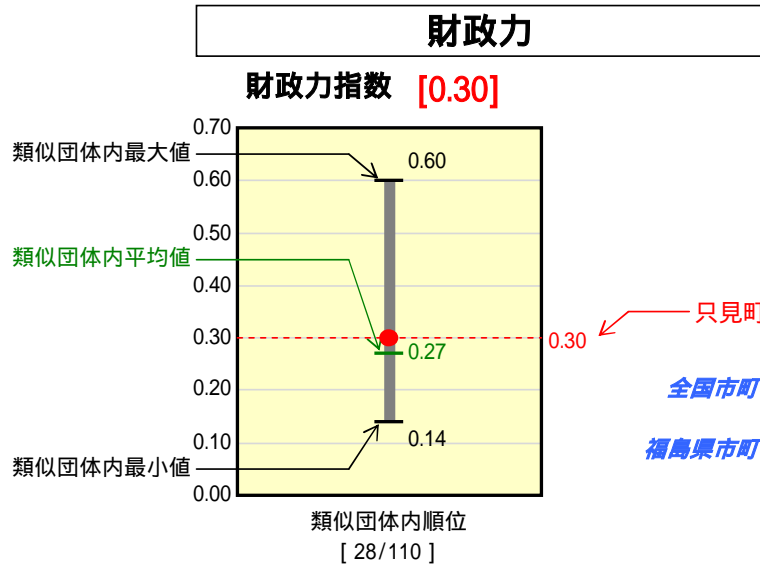


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 福島県 只見町

人口	5,396人(H17.3.31現在)
面積	747.53 km <sup>2</sup>
歳入総額	4,250,208 千円
歳出総額	4,196,526 千円
実質収支	44,369 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**財政力指数:** 水力発電施設の固定資産税収入により、0.30と類似団体平均を0.03ポイント上回っているが、大規模償却資産であることから税収が年々減少していくため、税の徴収強化や家屋の全棟評価の実施等により、歳入の確保に努める。

**経常収支比率:** 82.1%と類似団体平均89.2%を下回っているが、さらに行財政改革に取り組み人件費の抑制や特別会計への経常的繰出などの義務的経費の節減に努め、平成14年度以前の数値である80.0%を下回るように努める。

**起債制限比率:** 起債について、近年は、当該年度の元金償還額未満の新規発行を原則としてきたことから、類似団体を下回っており、この水準を維持していかなければならない。

**人口1人当たりの地方債残高:** 交流施設や高齢者福祉施設等の整備により、類似団体を上回っている。更に統合中学校の整備を平成17年度に着手しており、多額の地方債発行が見込まれるが、前記同様、元金償還額未満の発行を原則として地方債残高の抑制に努める。

**ラスパイレス指数:** 類似団体平均を下回る92.8となっており、概ね適正な水準にあるが、今後も引き続き給与体系の適正化に努めなければならない。

**人口1,000人当たり職員数:** 面積が広大なことから、公民館や保育所、小中学校が旧村単位ごとであり、診療所も直営で行っているため、類似団体を大きく上回る17.23人となっている。今後は、退職者の不補充や指定管理者制度の導入、民間委託等により、職員数の削減を図り、人員管理を行っていかねばならない。

